

平成24年度 第1回 青森市文化財審議会 会議概要

日 時： 平成24年12月26日（水） 午前10時～12時

場 所： 青森市森林博物館 2階 第3会議室

出席委員： 一町田委員、葛西委員、福田委員、上條委員 （欠席委員なし）

事務局： 月永教育長、小野寺部長、工藤理事、金澤次長
文化財課長、川村主幹、木村主幹、齊藤主査、澤谷主査
児玉文化財主査、三上主事 （担当課：文化財課）

【次 第】

1 委嘱状交付式

- (1) 開式
- (2) 委嘱状の交付
- (3) 教育長あいさつ
- (4) 閉式

2 組織会

- (1) 開会
- (2) 会長・副会長選出
- (3) 閉会

3 会 議

- (1) 開会
- (2) 諮問
- (3) 案件「小牧野遺跡の出土品」の青森市指定有形文化財の指定について
〔検討内容〕
 - ① 出土品の概要
 - ② 選定基準（案）
 - ③ 今後の進め方
- (4) 情報提供等
- (5) 閉会

【会議概要】

1 委嘱状交付式

教育長から委員4名に委嘱状が交付された。

2 組織会

一町田委員を会長に、葛西委員を副会長にそれぞれ推薦する声があり、全会一致で了承された。

委員長 一町田 工（「青森県の縄文遺跡群」世界遺産登録を目指す会 事務局長）

副会長 葛西 勳（青森県史編さん考古部 副部会長）

3 会議

意見・質疑応答

- ・資料に記載されている“遺構外・遺構内”とは、具体的にはどのような範囲を示しているのか。
- ・遺物の管理や公開について考えた場合、破片ではなく完形品や完形に近いものを指定したほうがよいのではないか。ただし、破片でも貴重なものもあり得る。
- ・小牧野遺跡でしか見られないものを指定したほうがよい。
- ・目録や資料を事務局側であらかじめ作成し、提示してもらいたい。
- ・小牧野遺跡の特色を示す出土品ということだが、どの時代まで広げるか考える必要がある。

（事務局）

- ・委員の皆さんの意見を踏まえ、各資料を精査・整理いたします。